

## 1.1 廃棄物系バイオマス利活用に関する事項

質問	回答
<p>廃棄物系バイオマスとはなにか。一般的なバイオマスとは異なるのか。</p>	<p>廃棄物系バイオマスとは、一般的に称されるバイオマスのうち、廃棄物として排出されるバイオマスのことを指します。具体的には、食品系バイオマスとして、一般廃棄物では、食品廃棄物（厨芥）が該当し、産業廃棄物では、動植物性残渣（食品加工残渣）が該当します。</p> <p>導入マニュアルの「はじめに」や「1 本マニュアルの構成と利用方法」を参照ください。</p>
<p>廃棄物系バイオマスの利活用に向けた検討を行う際に、どのように進めていけばよいか。</p>	<p>廃棄物系バイオマスの利活用に向けて、はじめに、現状把握（バイオマス賦存量、利活用可能量の算定等）やバイオマスの利活用目的等を検討し、その後、地域特性を踏まえたうえで、利活用を行うバイオマスの種類や対象地域、生成物の利用方法等について具体的に検討を進めていきます。</p> <p>詳細は、導入マニュアルの「3.現状把握（地域特性の分析）」や「4.利活用案の設定」等をご参照ください。</p>
<p>廃棄物系バイオマスの利活用することで、どのようなメリットがあるのか。</p>	<p>廃棄物系バイオマスの利活用により、これまで単に焼却処分されていた廃棄物を資源・エネルギー等として有効に利用することが可能となります。</p> <p>さらに、FIT 制度を利用した売電が可能となる他、ごみ焼却施設の規模の縮減にもつながります。また、廃棄物系バイオマスはカーボンニュートラルであるため温室効果ガスの排出削減効果も期待されます。</p> <p>導入マニュアルでは、「6.利活用案の評価と計画決定」にて、環境負荷及び事業効果の分析方法や検討に際して参考とすべき資料の紹介等を行っているので、ご参照ください。</p>
<p>バイオマス利活用事業における LCC 及び LCA の検討に必要な情報を教えてほしい。</p>	<p>バイオマス利活用事業における LCC、LCA を検討しようとする場合、まずは利活用に伴う基礎情報としてエネルギー使用量や回収量、温室効果ガス排出量、イニシャルコスト、ランニングコスト等の情報が必要となります。</p> <p>導入マニュアルでは、「6.利活用案の評価と計画決定」にて、環境負荷及び事業効果の分析方法や検討に際して参考とすべき資料の紹介等を行っているので、ご参照ください。</p>
<p>廃棄物系バイオマス利活用に関する最新情報を発信するサイトはないのか。</p>	<p>導入マニュアルと併せて環境省 Web サイトにおいて「廃棄物系バイオマス利活用」に関する特設サイトを設置していますので、ご参照ください。</p> <p>今後とも適宜、有用な情報を追加していく予定です。</p>
<p>廃棄物系バイオマス利活用に関する先事例を知りたい。</p>	<p>導入マニュアルの「参考資料 1.一般廃棄物を対象としたメタンガス化施設の稼働状況」及び「参考資料 2.廃棄物系バイオマス利活用事業の事例集」に整理していますのでご参照ください。</p>

## 1.2 メタンガス化施設整備の検討に関する事項

質問	回答
施設規模の算定方法、敷地面積の目安等、計画立案に必要となる情報がほしい。	施設規模については、施設整備マニュアル「2-3 処理フローと処理能力」においてメタンガス化+焼却方式における規模算出方法を記載しています。また、敷地面積についても事例から作成したモデル案を「3-7 必要敷地面積の目安(参考)」において試算していますので、ご参照ください。
前処理(機械選別)設備に関する詳細情報がほしい。	前処理(機械選別)設備には、様々な方式、形式があります。詳しくは、施設整備マニュアル「4-2 前処理設備」にて、事例紹介を行っているのでご参照ください。
廃棄物系バイオマスを活用してメタンガス化施設整備を行う際に関連する法制度を教えてください。	廃棄物系バイオマス利活用施設の整備に際しては、廃棄物処理法等の規定に従うことが必要です。また、メタンガス化施設については、メタンガスの貯留設備の整備に関する立地規制に配慮することが必要です。詳細は、導入マニュアルの「参考資料3 関連する法律と支援制度の概要」、施設整備マニュアル「2-12 関係法規」をご参照ください。
運営管理における留意事項を紹介してほしい。	メタンガス化施設の運営における留意事項としては、施設整備マニュアル「第5章 メタンガス化施設の運営管理上の留意点」として取りまとめています。また、個別の機器における留意点として、同「2-5 処理対象物の検討」、2-11 安全対策等」において事例を紹介していますので、ご参照ください。
メタンガス化した際に得られるエネルギーや発生する残渣の有効利用方法について教えてください。	メタンガス化施設では、メタンガスを含むバイオガスと発酵残渣が生成されます。これらの有効利用技術については、バイオガスの発電利用や燃料利用、発酵残渣の液肥利用や堆肥利用などがあります。詳細は、導入マニュアル「5.3 生成物の利用、処理方法の検討」に、導入事例や最新技術等の紹介等を行っているので、ご参照ください。
メタンガス化した際に得られる発電電力について FIT 制度を活用する際に、どのような点に留意することが必要であるのか。	FIT 制度を活用するには、事前に設備認定を受ける必要があります。FIT 制度の見直しにより、買取義務者の変更、買取価格の見直しなどが進んでおり、今後の動向に留意が必要となります。詳細は、導入マニュアルの「5.3 生成物の利用、処理方法の検討」等をご参照ください。
自治体の焼却+メタンガス化方式の導入状況について教えてください。	焼却+メタンガス化方式については、平成28年度までに2施設で稼働開始しているほか、今後も複数の市町村で整備が予定されています。詳細は、「平成28年度廃棄物系バイオマス利活用導入促進事業委託業務報告書」をご参照ください。
メタンガス化+焼却方式の維持管理において、施設の休止時の対応方法を教えてください。	メタンガス化+焼却方式では、焼却施設の稼働を踏まえた運転を行う必要があります。施設整備マニュアル「4-8 脱臭設備」及び「5-3 搬入物の変動への対応」においてメタンガス化+焼却方式における休炉時等の対応を記載していますので、ご参照ください。

注)「導入マニュアル」=廃棄物系バイオマス利活用導入マニュアル

「施設整備マニュアル」=メタンガス化施設整備マニュアル